

和泉短期大学・北里大学 インターンシップに関する取組み

◎大学間連携・学生主体のPBL「はっぴいアクアリウム・プロジェクト」

目的：インターンシップの高次化として、参加学生同士でグループを作り、与えられた課題等に対し自発的に発案し、取組む形式である。プロジェクトの企画に賛同する関東山梨地域大学連携校の和泉短期大学と北里大学の学生がグループを作り、市民（親子）を対象とした事業を企画・交渉・運営していく中で、自ら考え、行動する就業力を高める。

連携企業団体：さがまちコンソーシアム・相模原市幼稚園協会・相模原市保育連絡協議会・相模原市役所・市民グループ（「相模原に冒険遊び場をつくる会」）など

対象：和泉短期大学1年～2年（ボランティアサークルほか希望の学生）
北里大学1年～4年（アクアリウム・グループの学生）

期間：平成25年4月～12月

人数：年間 約80名（和泉短期大学－30名、北里大学－50名）

スケジュール：プロジェクト希望学生へガイダンス→学生打ち合わせ会議→グループ別作業→子育てひろば「はっぴい」（6月）参加→学生会議→市役所・連携企業団体と打ち合わせ→グループ別作業→児童虐待防止プログラム「オレンジリボンキャンペーン」実施（10・11月）→グループ別作業→学生会議→「はっぴいアクアリウムプロジェクト発表会」（11月23日）→事後研修

和泉短期大学の子育て支援プログラムとボランティアサークルの活動、北里大学のアクアリウム・ラボの活動を合体・拡大し、さがまちコンソーシアムなど連携企業の協力を得て、インターンシップを意識した、学生主体のPBLである。単位にも実習経験にもならないが、プロジェクトの内容に共鳴した学生の主体的参加による学習プログラムである。関東山梨地域大学連携校の中では距離的に近い大学同士、学生間の交流を図る意味でも、意義がある。プロジェクト活動全体を通して、学生は協調性やリーダーシップ、企画力、交渉力などについて修得する。また事後研修に向けて、コミュニケーション力、プレゼンテーション能力などの向上も図る。

